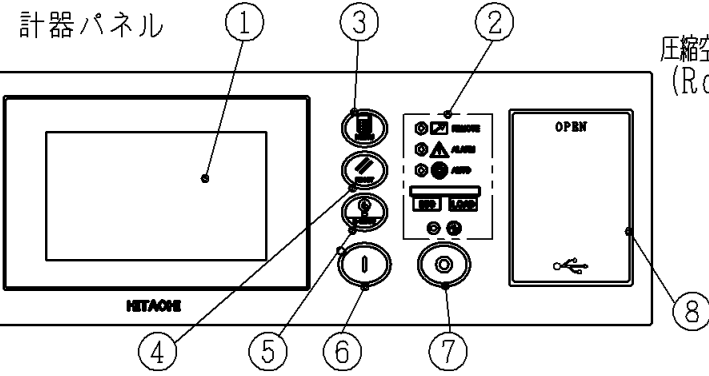
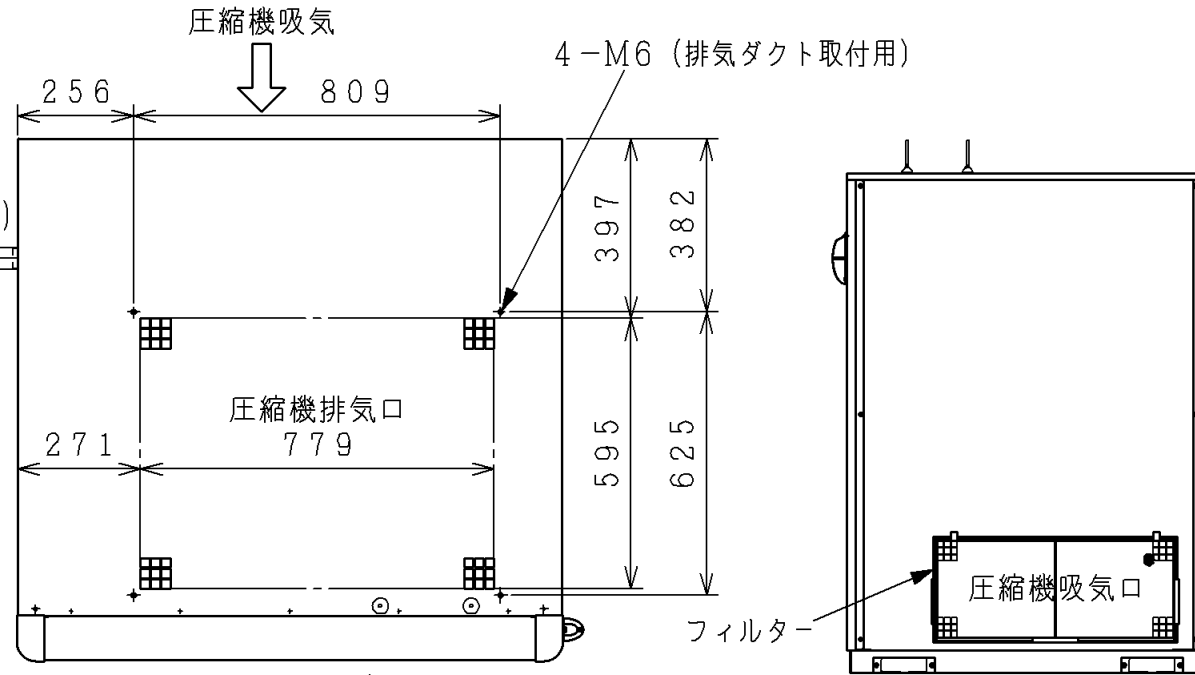
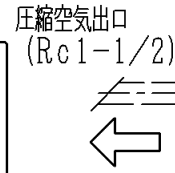
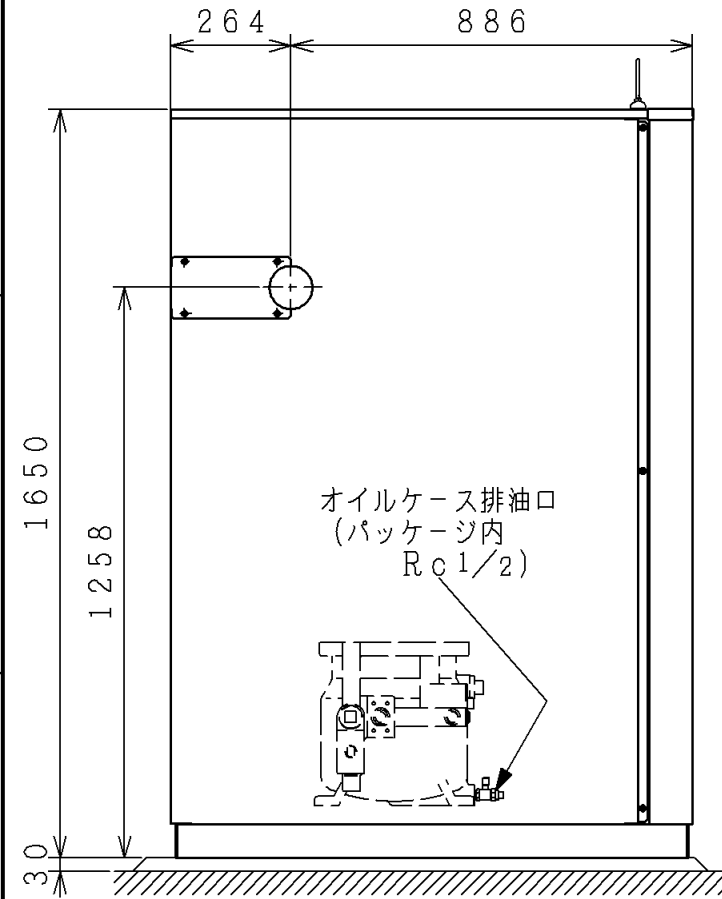


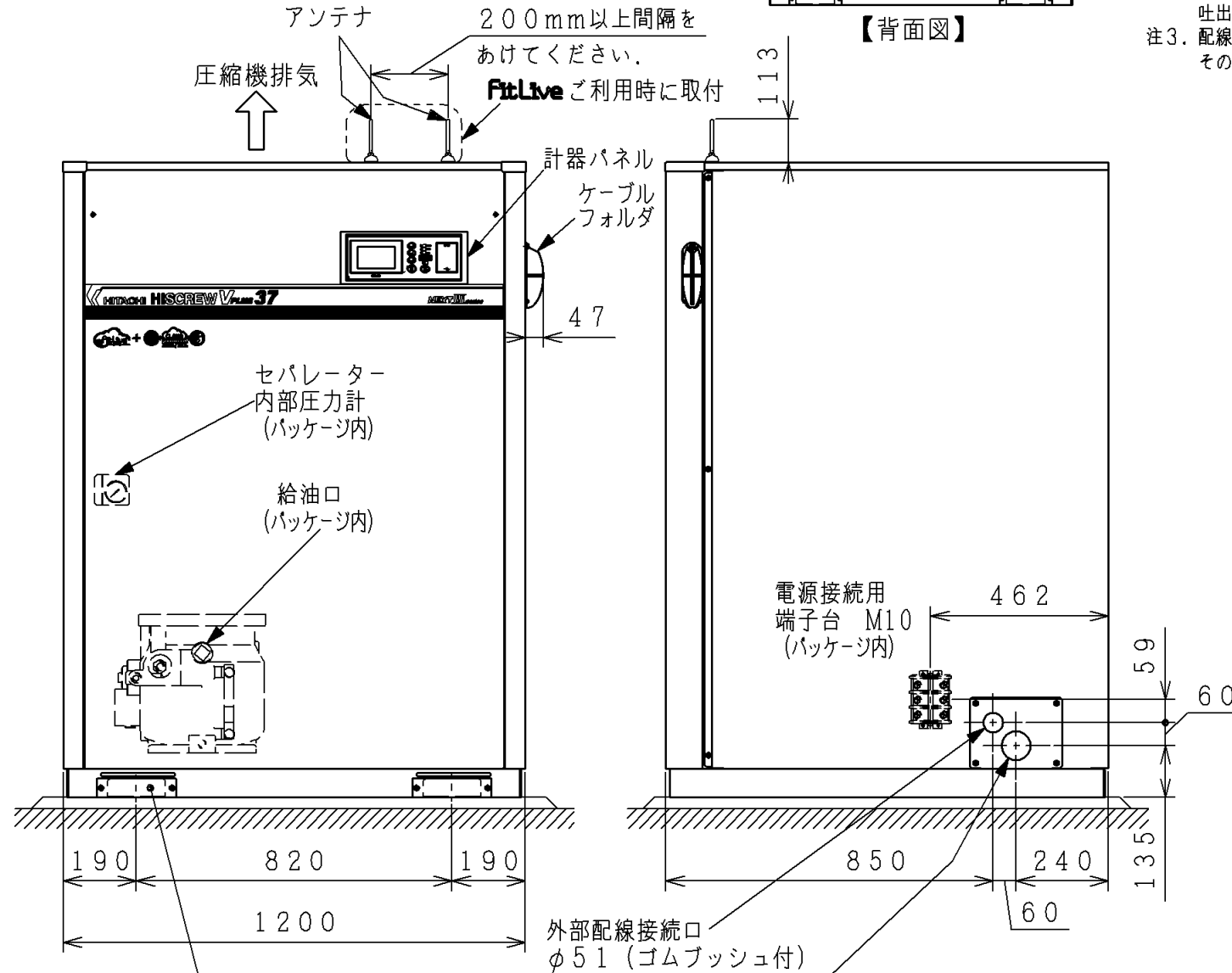
349S30157



記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理 (カータッチパネル)	5	E-MODEスイッチ
2	運転状況	6	運転スイッチ
3	メニュースイッチ	7	停止スイッチ
4	リセットスイッチ	8	USBコネクタ



【背面図】



据付け完了後4ヶ所のフォークリフト運搬用穴を付属の防音板で塞いでください。

電源接続口φ75 (ゴムブッシュ付) 圧縮機の電源引き込みは配線が剥き出しにならないよう、電線管にて施工してください。また、始動盤内配線施工時は、配線通過穴部に必ず保護ブッシュを設け、配線を保護するようにしてください。

仕様

型式	OSP-37VAN3			
吐出し圧力 (ゲージ圧力)	MPa	0.6	0.7 (1)	0.85
吐出し空気量 (2)	m ³ /min	7.1	6.8	6.2
露点気温度	℃	0~45		
主モーター公称出力	kW	37【全閉】		
ファンモーター出力	kW	1.1【全閉】		
電源電圧	V	展開接続図参照		
電源周波数	Hz	50/60		
必要換気風量	m ³ /min	397		
電源トランス容量 (kVA)	200V級	75以上		
	400V級	75以上		
電源ケーブル太さ (mm ²)	200V級	60以上 最大100 (3)		
	400V級	38以上 最大100 (3)		
質量	kg	670		
必要空気槽容量	m ³	0.43		

- 注1. [] は本機の定格仕様を示します。PQワイドモードは0.6~0.85MPaの範囲で設定できます。
- 注2. 吐出し空気量は、圧縮機吸込み状態に換算した値です。吐出し空気量の保証値については別途ご契約ください。
- 注3. 配線長さが10m以下の値です。10mを超えるときは、より太いケーブルが必要です。その際、中継端子等により圧縮機側では最大値以下になるようにしてください。

ご注意

- 本機は空冷機ですので、狭い建屋に据付けますと、露点気温度が上昇します。露点気温度が45℃を越える場合は、圧縮機1台あたり表の換気風量以上の換気扇を取付けてください。
- 据付時は、別図面「据付・配管上のご注意」に示すメンテナンススペースと、吸気口から熱気、塵埃が入らないよう考慮して、据付位置を決めてください。
- 圧縮機は、床面が平滑な所に水平に据付けてください。
- 基礎工事を実施してください。基礎への取付けは、別図面「基礎ボルト位置図」をご参照ください。必ず基礎ボルトで固定してください。
- 地耐力が1ton/m²未満の地盤では、基礎部に厚さ150mmの張出しを設け、底面荷重〔全荷重(本体+基礎)/基礎底面積〕を地耐力の1/1.3以下にするか、または杭打をして地耐力を増強してください。
- 破線部の配管材は、貴社にてご用意ください。また、吐出配管において圧縮空気が冷却されますと、ドレンが発生しますので、配管末端には必ずドレン排出バルブを設けてください。
- 始動盤には、漏電遮断器 (ELB) は含まれていませんので、貴社にてご用意ください。なお、ELBは日立製をご使用ください。
- 必ず「アース」を取付けてください。接続口は始動盤内にあります。アース線の太さは22mm²、接地工事は、100Ω以下のD種接地としてください。電源電圧が400Vの場合は、10Ω以下のC種接地としてください。
- 電源配線を立上げる場合は圧縮機右側面のカバーが分解できるように500mm以上離してから立上げてください。
- 必ず屋内に据付けてください。
- 電源OFF直後もインバーター、DCBLコントローラーの端子に電荷が残っていますので、最低10分間は充電部に触れないでください。
- 圧縮機吸気口、フィルターにダストが溜まると吐出温度高等、故障の原因となります。定期的にフィルターを清掃してください。
- FitLive** をご利用の際は必ずアンテナ2本【付属品】を取付けてください。取付方法や注意事項は別図面「アンテナ取付要領図」を参照してください。

記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
	来歴			

備考	品名	投影法	尺度
	HISCREW NEXT III OSP-37VAN3 据付図		NTS
製図	ナガサカ、ア	2017-09-06	株式会社 日立産機システム
審査	サイトウ、ノ	2017-09-06	
承認	サイトウ、ノ	2017-09-06	
清水図書		校番	訂正
349S30157		校番	2017 09-06